

学校

子供まんなか主義

この言葉はヨーロッパの街づくりから生まれた言葉です。街をつくる時、子供を中心に考え、街のまん中に学校をつくりました。子供たちに怪我などがあつたときのために近くに病院を。そして図書館なども近くに建てたのです。そして、そこに行くまでの道の安全を管理するように、ガードレールなどを完備しました。すると、結果的に高齢者や体の不自由な方にもすごしやすい街ができたということです。子供目線でものを考え、子供のための街作りをすることが、自分たち大人も幸せにしたということから「子供まんなか主義」という言葉となりました。

親である人は、「子供」の「おかげ」で親になりました。そして教師は子供がいる「おかげ」で教師でいられるし、給料もいただいています。主語を「子供」に変えて物事を考えていくことで、よりよい教育ができると自分は信じ、この言葉を学校経営の中心にすえています。しかし、これは決して子供を甘やかすということではありません。与えすぎたり、手をかけすぎたりした子はよい育ち方をしません。子供のための環境を整えていくこと。その上で「子供目線」で物事を考えていくこと。これらのことを進めていきたいと考えます。

日本国憲法・教育基本法・学習指導要領・都や区の教育方針・社会の要請等

連携

西新宿子ども園

近隣学校

関係機関

行きたい学校
帰りたい家
住みよい街

学校とは：

子供たち一人一人の
資質・能力を高める
とともに、国家及び
社会の形成に主体的
にかかわろうとする
基礎的態度を養う場

基本理念

- 子供一人一人に価値を見出す
- 児童・教職員がつくる学校へ
- 地域の教育資源を最大件に活用する

行きたい学校

地域協働学校運営委員

家庭

- ・ 基本的生活習慣
(早寝・早起き・朝ご飯)
- ・ 親子の会話、挨拶
- ・ 家庭学習の習慣化
- ・ 学校との協力関係

帰りたい家

地域

- ・ 桜美林大学
- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ プロジェクト西新宿
- ・ オペラ鑑賞会
- ・ ウクレレ教室
- ・ 町会等

住みよい街

「世界と出会うワンダーランド」～地域とともに児童の主体的な学びをサポートする学校～

学校教育目標

「進んで考える子」を育成するために	「思いやりのある子」を育成するために	「心と体をきたえる子」を育成するために
①教職員が研修等で学んだことを積極的に授業に取り入れ、授業改善に努める。 ②授業の中でつまずきを早期に発見することで、子供一人一人を見取り、学力を定着させる。	①自他を尊重し、規範意識や奉仕の心をもたせる。 ②道徳科では「考え、議論する」授業を心掛ける。	①学級担任と養護教諭が連携して、保健・安全・食育に関する指導を充実させ、望ましい生活習慣形成への意欲と態度を育てる。 ②「スポーツギネス新宿」を効果的に実施し、体力向上並びに意識向上を図る。

学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ①公的機関、民間を問わず、様々な出前授業等を実施して、日常の指導の中に豊かな体験活動を取り入れる。
- ②ICT機器を効果的に活用する。
- ③生成AI等の新しい技術については、適切な活用と情報モラル教育を徹底する。
- ④児童の多様性を認め合い、共に学び合う学習環境を整備する。
- ⑤安全教育・防災教育を充実させ、危機対応能力を育成する。
- ⑥「きれいな学校」を保つために、掲示物を貼るスペースを決めるとともに、掲示物等を精選する。

自己点検・自己評価・学校関係者評価委員会・児童・保護者・地域協働学校運営委員による評価アンケート等

改善策の検討

学校経営計画の見直し
教職員の意識改革・授業改善

裏面不要